

# 社協 だより ONAGAWA



11月15日（水）女川中学校で「まるこ山防災教室」が行われました。震災の体験を踏まえて防災・減災の意識を高め、皆で助け合うことの大切さを考え、災害時に必要な知識・技能を習得するための取り組みです。

学年ごとに違ったメニューで行うことで、3年間かけて幅広い経験が得られるようになっています。

1年生は非常食調理体験と支え合い意識を高めるカードゲームを行いました。袋を使った炊飯で作った小さなおにぎりを分け合いました。

2年生は救急救命講習を行いました。命を繋ぐために必要な技術「心肺蘇生法」を学びました。

3年生は災害ボランティアセンター運営訓練を行いました。震災当時に女川町災害ボランティアセンターで行われた活動を参考にして作られたプログラムを体験しました。

震災当時はまだ小学校低学年だった子どもたちが今や中学生となり、いざというときに命を守ることのできる担い手として、防災意識を高めてくれているのです。

これから安心安全の町づくりを支えるために必要不可欠な子どもたちと中学校の取り組みに、ぜひご注目下さい。



子ども達も防災意識を高めて、  
安心安全の町づくりを支えます！

1  
JANUARY.2018

# 謹賀新年

すばらしい一年となりますよう

心よりお祈り申し上げます。

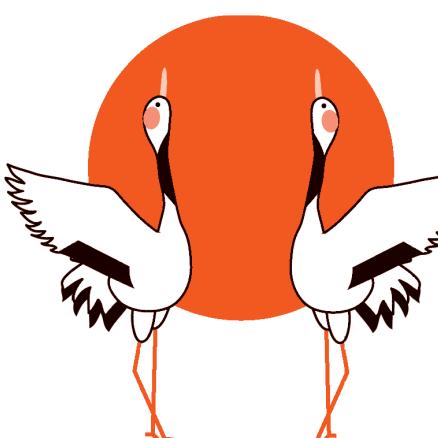
本年もどうぞよろしく

お願ひいたします。

二〇一八年元旦

社会福祉法人女川町社会福祉協議会

会長 的場登美子  
副会長 齋藤俊美  
理事 土井正典  
監事 高橋齋藤  
佐藤木村  
渡邊勝又  
宮元菊枝  
遠藤賢一  
智仁公也



紹介します。御代さんの障がいに対する思いをぜひ皆さんにお読みいただきたいと思います。  
女川町民弁論大会（主催：女川鰐綾会／金曜会）の小学生の部で最優秀賞を受賞された鈴木御代さんの弁論を

## 私たちを「障がい者」とよばないで

女川町立女川小学校 五年 鈴木 御代

すずき  
みだい



「うわー！何？その足！」

この言葉は、私がある男の子に言われた言葉です。

そのときは、とても傷付きました。

今でも思い出したくない出来事です。

最近、私のように障がいをもつ人たちが、傷付けられるニュースが見られます。私はそのようなニュースを見て、とても傷付き、とても悲しくなります。

障がいの無い人たちには、私たちのことを、どのように思っているのでしょうか。私なりに原因を二つ考えてみました。

一つ目は、「みんなとは違う。」と思われているのではないか、ということです。私は、生まれつき足が不自由です。みんなより少し動きが遅いし、バランスを崩して転倒してしまうことがあります。皆さんと同じように笑ったり泣いたりします。私の障がいは目に見える分かりますが、目に見えないとこに障がいがある人もいます。その人たちも、苦手なことがあるだけで、みんなと同じように笑ったり泣いたりします。みんな同じなのです。

二つ目は、障がいのある人に対する周りの人たちの見方です。私は時々、足が遅い。速く歩いてほしい、と思われているような気がします。自分が見えない人や耳が聞こえない人、病気がちな人、言葉が上手に話せない人にも思いはあります。ただ、私たちには思っていることを伝えることが下手なだけなのです。

障がいの無い人だけが悪いということではありません。私は、障がいのある人にできることはないと考えました。障がいのある人も、できるだけ積極的に皆と同じ「輪に入ろうとすること」が大切なではないですか。そうすれば、障がいの無い人が、障がいいの無いみなさんにもしてほしいことがあります。それは、障がいのある人が困っていたら、

勇気を出して声をかけて、助けてあげてほしいということがあります。そうすれば、障がいのある人の心を開いて、それまで分からなかつたその人のことについて知ることができます。優しい心、思いやりの心があるということは、障がいのある人に関係なく、皆一緒です。ですから、人を傷付けるような言葉や暴力は絶対にしてはいけないことです。

障がいのあるみなさん、障がいは個性だと思います。十人いれば十人同じ人はいませんよね。一人一人違います。それと同じように、障がいのある人、無い人に限らず、気持ちや思いやりは同じだと思います。だから障がいは個性なのです。個性として私たちのことを見てほしいです。これを実現することが、私の理想の世界です。そして、障がいのある人もない人も、楽しく元気に夢を追いかけているような未来になつてほしいと思います。私は、「看護師になる」という夢があります。以前、元車椅子バスケットボール選手の京谷和幸さんのお話を聞いたときに、「出会いと感謝」が大切だということを教えていただきました。町で私を見かけてくれると、「元気？」、「歩くのが早くなつたね。」、「運動会頑張ったね。」と声をかけてくれる人がたくさんいます。

私はとても嬉しい気持ちでいっぱいになります。四年生までは普通学級にいて、皆について行くのが精一杯な毎日を送っていましたが、五年生になるとき

に、県、町、教育委員会、学校のおかげで、「たんぽぽ学級」という肢体不自由の支援学級を新しく創つていただき、今は毎日楽しく、そして自分らしく過ごすことができるようになりました。たんぽぽ学級にたくさんの友達も遊びに来てくれます。私はこれからも、やる気の気持ちをもつて、夢への道を拓いていきたいです。皆が夢に向かって歩いていける未来へ

# うみねこ園だより

うんこしゃ!

## だいこん 収穫



11月20日、4名のボランティアさんのお手伝いをいただき、今年も大根を収穫することができました。去年は台風の影響で小ぶりなうえ量も少なかったのですが、今年は去年とはうってかわって大きさも量も十分なもの。そんな大根を、寒さを気にすることもなく、取ったり洗ったり運んだり…と、収穫にいそしんだ利用者さんたちでした。収穫した大根は、後日味噌汁にして利用者さんの胃の中へ。

農耕作業を主導していただいたボランティアさん、また、当日収穫に際してご協力いただいた3名のボランティアさん、ありがとうございました。



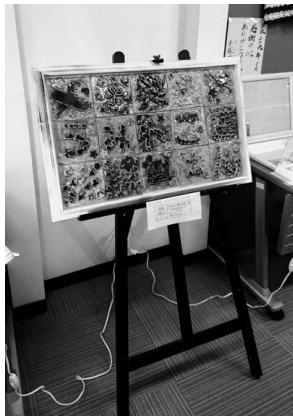
## アカペラコンサート

11月22日、「AWS」のみなさんに、うみねこ園にてアカペラコンサートを開催していただきました。以前から何度も女川に来ているというAWSのみなさんですが、うみねこ園ははじめて。しかし、曲がはじまるときみなさんたちまち引き込まれたようで、「上を向いて歩こう」「スタンド・バイ・ミー」「川の流れのように」などの曲に、思わず手を叩きだしたり、一緒に歌い出したり、立ち上がる利用者さんもいたほどでした。

きわめつけは最後の曲「サンマドエサンバ」。うみねこ園でもおなじみのこの曲、多くの利用者さんが立ちあがり、AWSのみなさんと一緒に踊り大盛り上がり！とても楽しいひと時となりました。  
別れ間際に、何度も「また来てね！」と約束をしていた利用者さんたちでした。



## 作家として的一面もあり・・・



11月に開催された社会福祉法人石巻祥心会後援会主催の芸術祭「第8回わくわくワンダーアート展」に、うみねこ園からも作品を出展させていただきました。

出展したのは、以前から「みなとまちセラミカ工房」さんのご協力のもと行っている陶芸教室で作った皿やどんぶり、鉢、そしてみんなで作ったネームボードなどの陶芸作品。展示された力作を、実際に見に行っていただいた利用者さんのご家族もあり、「おもむきがあって良かった」との感想も聞かれました。

無名な作家ではありますが、これからもいろいろな作品に挑戦していきたいと思っています。



# ボランティアセンターだより1月号

※ボランティアについての各種問い合わせはこちらへ→ 0225-53-4333（担当：矢竹拓）

## 女川高等学園の放課後ボランティア

女川高校跡地にて平成28年に開校した宮城県立支援学校女川高等学園では、全寮制で軽度の知的障がいを持つ生徒たちの特性に応じた職業教育を行い、それぞれの能力・可能性を伸ばし、社会的・職業的に自立できる生徒の育成に取り組んでいます。

また放課後の余暇時間に地域貢献としてのボランティア活動にも取り組んでいます。地域住民に関わり、人の役に立ち、感謝される経験から自信を育むことに繋がり、生徒たちにとっても大きな成長の糧となりうる重要な活動です。



たよりになる生徒たちです！

11月27日（月）  
ボランティアセンターからの紹介で、浦宿浜石ノ田の山側法面の清掃活動が行われました。放課後の限られた時間で、寒風吹く中ではありました。生徒たちは熱意を持って細かなものから丁寧にゴミを拾ってくれました。

地域住民ではなかなか手の行き届かない場所の清掃に力を尽くしてくれた生徒たちの活動は、まさしく地域貢献と言えるでしょう。今後女川高等学園は地域の支え合いの一翼を担う貴重な人材資源になっていくのではないでしょうか。

▷生徒たちに手伝ってもらいたいことありませんか？

女川高等学園では、放課後の16時～18時にボランティア活動が可能とのことです。地域で何か生徒たちに手伝ってもらいたいことがあればぜひご相談下さい。お問合せはボランティアセンターまで。

## 小学校3年生と高齢者の交流授業



優しく語りかけてくれました

11月2日（木）女川小学校3年生の福祉教育の授業「お年寄りの生活の困難さを体験してみよう」で、生徒たちが特殊な装具を使って、目が見えにくくなったり、身体が動かしづらくなる等、高齢者の身体状況を疑似体験しました。

その後、実際に高齢者と触れ合う時間が設けられ、交流相手として、8名の住民ボランティアの方々に来ていただきました。

自己紹介に始まり、大きな字で名札を作り、一緒にカードゲームを楽しみ、生徒が高齢者にインタビューしたり、さまざまなプログラムの中で交流しました。

生徒たちは早く動けなかったり、耳が聞こえにくくなる等、高齢者の特性をやりとりの中に感じて、配慮の仕方やいたわりの心を学びながら、一方では活き活きと暮らしを楽しみ、チャレンジ精神旺盛な高齢者の

実像に驚かされました。高齢者のみなさんも、ひ孫ほど年が離れた生徒たちの元気な姿に刺激を受けながら交流を楽しんでくれました。

今回の体験と交流で、生徒たちは高齢者と自分たちの違いを知ることができました。それは加齢に伴う日常生活の大変さや出来ないことだけでなく、出来ることやそれぞれの得意なことや、年齢・経験を重ねてきたからこそその知恵や包み込むような優しさ等、生徒たちの高齢者へのイメージは豊かに広がったことでしょう。

## 『おらほの女川食堂』 ボランティア募集



女川の子どもたちが安心して立ち寄れる場づくりとして、毎月3回女川版の子ども食堂「おらほの女川食堂」が行われています。

訪れた小中学生の子どもたちと一緒に遊んでくれたり、話を聞いてあげたり、手芸・工作・ゲーム・学習等、子どもたちの興味に応じた体験を提供してくれるボランティアを募集しています。まずは見学からで構いませんので、興味があればまずは気軽にお問い合わせ下さい。

女川の子どもたちの「心と体」を豊かに育むための活動に、ぜひみなさんの力を貸し下さい。

場 所	きらら女川シーパルピア店
時 間	14時30分～16時30分
実施日	①1月13日（土）②1月20日（土） ③1月27日（土）④2月 3日（土） ⑤2月17日（土）⑥2月24日（土）

## 【お知らせ】ボランティアの 入門講座を行います！

ボランティアセンターでは、今までボランティア活動を行ったことがない未経験の方々に向けたボランティア入門講座を企画しています。

「ボランティア」という言葉の定義や歴史から紐解き、映像をご覧いただいたり、体験も盛り込んで楽しく学べる内容で検討していますので、ボランティアに興味のある方はぜひ気軽にご参加下さい。

未経験者向けですが、既に様々な活動を実践されているベテラン経験者の方も大歓迎です。基礎的なことを振り返ることで、活動がより深まるかもしれません。

参加ご希望の方はボランティアセンターまでお申込み下さい。実施日程は決まり次第、お報せいたします。

日 程	2018年2月（日時未定／平日開催）
内 容	①ボランティアの定義・基礎を学ぶ ②町内で行われているボランティア活動を知る ③「支え合いゲーム」の体験 ④傾聴ボランティア入門講座 ⑤災害ボランティアセンター運営訓練 ⑥ボランティア活動の体験
場 所	女川町地域福祉センター会議室



## お坊さんによる講座

### 『新春 桜の和菓子づくり』

毎年、講師を務めていただいている全国日蓮宗青年会（日青塾）の皆さんによる『和菓子づくり講座』です。終わったあとは、お菓子を食べながらまったりとお茶の時間になります。ぜひ、皆さまお誘いあわせのうえ、ご参加くださいませ。

1. 日 時 平成30年1月30日（火）午後1時から午後3時
2. 場 所 女川町まちなか交流館
3. 講 師 yummymade 村山めぐみ氏（多賀城市在住）
4. 参加費 1,000円
5. 申込先 女川町社会福祉協議会  
TEL 53-4333  
Mail smile@shakyo-onagawa.or.jp  
1月12日（金）までお申ください。



写真はイメージです。

### H30年度 「宮城いきいき学園」学園生募集（再掲）

宮城県社会福祉協議会では、下記のとおり平成30年度学園生を募集しております。

- 対象 県内に居住しているおおむね60歳以上の方で、健康で学習意欲があり、2年間継続して受講可能な方。
- 会場 石巻校（東松島市コミュニティセンター）
- 募集人員 40人（定員を超えた場合は先着順で決定します）
- 学習日 年間22日（2学年制）
- 内容 生きがいと健康づくりを目指し、地域社会に貢献できる人材として必要な内容を身につける。
- 募集期間 平成29年12月1日（金）～平成30年2月28日（水）必着
- 入金・受講料 入学金5,000円 受講料年間20,000円
- 申込書 本会窓口に設置しております。
- 問合せ先 宮城県社会福祉協議会 いきがい健康課  
(電話022-225-8477)まで

女川町の方も  
受講しています。



### 土日無料法律相談会

生活のなかで様々な悩み事などを抱えている方も多いことと思います。法テラスでは、平日働いているのために土日の相談会を開催しています。

一人で抱え込みず、ぜひこの機会にご活用ください。

#### 土日相談実施日時

13日(土)・28日(日)10時～16時

#### 場所：法テラス東松島

(東松島市矢本字大溜1-1コミュニティセンター西側)  
※お住まいの場所に関係なくどなたでも無料で相談できます。（事前予約の方が優先となります。）

予約・問合せ先 法テラス東松島  
Tel. 050-3383-0009

(受付：平日9時～17時／相談：平日10時～16時)

### ゆぽっぽ健康講話『何でも健康相談会』

日 時 1月16日(火) 16:00～17:00

場 所 ゆぽっぽ2階休憩室

毎月第3火曜日は、女川町地域医療センター医師が健康に関する相談に応じます。

当日は、健康相談会にお越しいただいた方は、  
**入浴料500円→250円**とお得に入浴できます。

みなさん、ぜひお誘いあわせのうえお越しください。

女川温泉ゆぽっぽ Tel.0225-50-2683

(営業時間：9:00～21:00)

※町民バス回数券をフロントにて好評発売中！

## 皆様の善意に感謝申し上げます

(11月11日～12月10日受付分)

寄附金（敬称略）

単位：円

行政区	氏名	金額
東京都	株式会社ブリッジ	25,000
長野県	南箕輪村社会福祉協議会	257,540
愛媛県	川之石の愛を伝え隊	8,000

ご存知ですか？！



### 「司法書士」のお仕事

『司法書士』は、個人や企業などの依頼により法律に関する書類作成や法律上の手続きを代行する仕事です。司法書士試験は簡単に合格できるものではなく、いわゆる士業のひとつとして有資格者にしかできないと定められている業務も多くあり、その道のプロフェッショナルです。

司法書士の「書士」には、書類作成などの専門家であるという意味が含まれています。その意味の通り、司法書士の仕事内容は複雑な法律関係の書類作成がメインで、その他にも業務範囲が広いという特徴があります。

土地や建物の不動産登記や会社の法人登記などが主な業務で、高齢社会を迎えた現在、今後は成年後見制度や相続の相談など、私たちにとっては弁護士よりも身近な法律家としての頼もししい存在の司法書士です。

### 司法書士による「高齢者・障害者のための成年後見相談会」

開催日：平成30年1月20日（土）

受付時間：10:00～16:00

会場：宮城県司法書士会館、気仙沼、南三陸、石巻、**女川**、大崎、仙南、山元の合計8か所

予約番号：022-263-6755（予約会場名をお伝えください）

お問い合わせ 宮城県司法書士会 022-263-6755

## おらほの女川食堂に子どもたち集まれ！

「女川の子どもたちが安心して立ち寄れる場を作りたい」と有志が立ち上がり、毎月3回きらら女川シーパルピア店で女川版子ども食堂「おらほの女川食堂」が行われています。

指定の食券を持参すれば100円でカレーライス・メンチカツ定食・わかめうどん等、美味しい食事を食べることができます。

一緒に遊んでくれるボランティアによる様々な体験コーナーや悩みごと相談も受け付けています。

主に地域の区長さんに子ども達への食券配布をお願いしていますが、食券を持っていない子ども達には直接お店でお渡ししています。

ぜひお誘い合わせのうえ、ご利用下さい。



対象	女川の小学生・中学生
場所	きらら女川シーパルピア店
時間	14時30分～16時30分
実施日	①1月13日（土）②1月20日（土） ③1月27日（土）④2月3日（土） ⑤2月17日（土）⑥2月24日（土）
連絡先	きらら女川（担当：沼田） 電話 0225-98-8062

### 1月の介護予防「地域遊びリテーション・ふまねっと」

実施内容については 地域遊びリテーション ・ふまねっと となります。

地区	日時	地区	日時	地区	日時
大沢	15日 13:30	上四	12日 13:30	石浜	15日 9:30
浦宿一	9日 13:30	上五	15日 13:30	大原南	17日 9:30
浦宿二	10日 13:30	西二	お休み	女川南	19日 9:30
浦宿三	10日 9:30	運動公園住宅	11日 9:30	女川北	9日 9:30
針浜	15日 13:30	日蕨	16日 13:30	出島	お休み
旭が丘	お休み	小乗	15日 9:30		
上三	25日 13:30	宮ヶ崎	お休み		



赤い羽根共同募金 10月1日から赤い羽根共同募金がはじまっています。